

そのとき、役に立つ知識

緊急地震速報

- 平成19年(2007)10月1日から、地震が発生したときに、強い揺れの情報を事前に知らせる「緊急地震速報」が始まりました。
- 地震が到達するまでの数秒から十数秒の間に、列車やエレベーターをすばやく制御させて危険を回避したり、オフィスや家庭などで避難行動をとることによって被害を軽減させたりすることが期待されます。

緊急地震速報を見聞きしたら

- 家庭では** 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。あわてて外へ飛び出さない。
- 電車・バス乗車中は** つり革、手すりにしっかりつかまる。
- 自動車走行中は** あわててブレーキをかけない。ハザードランプを点灯し、道路の左側にゆっくり停止する。
- 集客施設では** 落ち着いて係員の指示に従う。あわてて出口に走り出さない。
- 屋外では** ブロック塀の倒壊に注意する。看板やガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。
- エレベーター内では** 最寄りの階で停止させ、すぐにエレベーターを降りる。



防災メモ

緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模(マグニチュード)を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限りすばやく知らせる情報です。

緊急地震速報の限界

現時点では緊急地震速報には技術的な限界があります。緊急地震速報を適切に活用するために、その限界を正しく理解しておきましょう。

- 強い揺れがくるまでの時間は長くても十数秒~数十秒です。
- 地震が発生した場所から近い地域では、情報が間に合わないことがあります。
- 事故、落雷、故障などによって、誤った情報が発表されることがあります。
- 特に大規模な地震に対しては、地震の発生した場所やマグニチュードの精度に限界があります。
- 複数の地震が同時に発生したり、近い場所で発生したりした場合には、地震を適切に分離できず、的確な発表ができないことがあります。
- 統計的な計算式や地盤の特性を利用して計算するため、推定する震度の精度に限界があります。

感染防止対策

- 災害時における避難所には不特定多数の人が避難することから、新型コロナウイルス等の感染症が懸念される状況においては、感染症対策に万全を期すことが重要です。
- 市においても、避難所での感染症対策に取り組めますが市民の皆さまのご理解、ご協力が不可欠となります。

災害が起こる前

【非常持ち出し品の確認】

あらかじめ準備している非常持ち出し品に、マスク、体温計、ビニール袋、アルコール消毒液、ウェットティッシュ等の感染症対策用品も加えておきましょう。



【親戚や友人の家などへの避難検討】

避難時には、避難所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は親戚や友人の家などへ避難することも考えておきましょう。



避難所での滞在時

【手洗いや手指消毒とマスクの着用】

頻繁な手洗いや手指消毒、マスクの着用など咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底しましょう。



【避難所の衛生環境の確保】

避難所の衛生環境を整えるため、避難所の備品などを定期的に清掃消毒を行うようみんなで協力しましょう。

